

令和2年度 第3回保健福祉政策審議会 概要

1. 日時：令和2年11月20日（金）13：50～14：20
2. 場所：岡山市保健福祉会館9階 機能回復訓練室
3. 岡山市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）の策定について

・訪問介護について、ヘルパーの採用が難しい状況だが、在宅生活を支えるうえで、ヘルパーは重要な存在なので対策をお願いしたい。

ケアマネジャーについても人材不足が懸念されており、市として人材育成などに取り組み、応援してもらいたい。

・通所介護について、市独自の「デイサービス改善インセンティブ事業」により介護サービスの質の評価に取り組んでいるのはすばらしい。今後も引き続き取り組んでもらいたい。

・認知症高齢者が増えていく中で、認知症対応型通所介護は重要なサービス。岡山市の認知症対応型通所介護は質が高い。引き続き、良い環境の中でサービスが提供されるようお願いしたい。

・介護保険料が高いということは、使えるサービスが多く、安心して介護を受けられる環境にあるとも言える。介護保険料の所得段階は、国が9段階の基準を示しているところ岡山市は12段階と多く、きめ細かい対応をしているが、さらに所得段階を増やしていくことも必要ではないか。

・特別養護老人ホームは、各施設にショートステイのベッドが20床ほどあるが、すべてが稼働しているわけではない中、人員は確保している状況。ショートステイから特別養護老人ホームのベッドに転換できれば、介護保険料の上昇の抑制にもつながると考えられる。